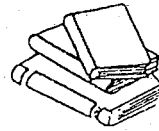


ここには、当研究所が所蔵する邦文で書かれたサハラ以南アフリカの政治関係の単行書および雑誌記事を収録した。ページ数の都合上、単行書については1982年以降のものを、雑誌記事については1985年以降のものを収めている。



〈単行書〉

Hanlon, Joseph: 隠された戦争 アパルトヘイトと黒人諸国 北村文夫訳 東京 新評論 1987: 232p.
(Ja-323.1-H 12)

林 晃史編: フロントライン諸国と南部アフリカ解放 東京 アジア経済研究所 1984: 185p.
(Ja-327-Aj 3)

林 晃史編: 南アフリカ アパルトヘイト体制の行方 東京 アジア経済研究所 1987: 231, 15p.
(Ja-323.1-A 15)

家 正治: ナミビア問題と国際連合 神戸 神戸市外国語大学外国学研究所 1984: 170p.
(Ja-341.2-K 56)

International Confederation of Free Trade Unions: アパルトヘイト下のアフリカ人労働者 ICFTU 日本加盟組織連絡協議会訳編 東京 ICFTU日本加盟組織連絡協議会 1984: 88p.
(Ja-331.8-I 4)

伊藤正孝: アフリカふたつの革命 東京 朝日新聞社 1983: 305p.
(Ja-323.1-I 10)

岩城 剛: アフリカの自立化と経済 東京 日本国際問題研究所 1982: 262p.
(Ja-338.9-Ni 128)

Kapúsciński, Ryszard: 皇帝ハイレ・セラシエエチオピア帝国最後の日々 リシャルト・カプシチンスキー(著) 山田一廣(訳) 東京 筑摩書房 1986: 217p.
(Ja-323.2-K 27)

川端正久: アフリカ危機の構造 京都 世界思想社 1987: 187p.
(Ja-33-Ka 49)

日本工業倶楽部: 南アフリカ共和国事情 東京 1986: 164p.
(Ja-308-Ni 89)

小倉充夫: 現代アフリカの悩み 東京 日本放送出版協会 1986: 231p.
(Ja-30-Og 1)

世界の議会(10)-アフリカー (辻清明監修) 東京 ぎょうせい 1983: 277p.
(Ja-328-Se 1)

Tutu, Desmond Mplio: 南アフリカに自由を 荒野に叫ぶ声 デズモンド・ツツ著 桃井健司 近藤和子訳 東京 サイマル出版会 1986: 232p.
(Ja-323.1-T 30)

浦野起央: 民族独立論——アジア・アフリカにおける独立の経過と意味 東京 群出版 1982: 534p.
(Ja-325.4-U 2)

浦野起央: 資料体系アジア・アフリカ国際関係政治社会史 第4巻 アフリカIIIc 東京 パピルス出版 1983: 1418-2285p.
(Ja-327-Ur 4)

浦野起央: アジア・アフリカ国際関係政治社会史 第4巻 アフリカIVa 東京 パピルス出版 1984: 682p.
(Ja-327-Ur 4)

浦野起央: アジア・アフリカ国際関係政治社会史 第4巻 アフリカIVb 東京 パピルス出版 1984: 1276p.
(Ja-327-Ur 4)

浦野起央: 資料体系アジア・アフリカ国際関係政治社会史 第5巻 アジア・アフリカ(第三世界) IIIc 東京 パピルス出版 1983: 1532-2264p.
(Ja-327-Ur 4)

浦野起央: 資料体系アジア・アフリカ国際関係政治社会史 第5巻 アジア・アフリカ(第三世界) IIId 東京 パピルス出版 1983: 2265-3011p.
(Ja-327-Ur 4)

浦野起央, 西 修: アジア・アフリカ国際関係政治

社会史 第8巻 憲法資料 アフリカⅢ 東京 パピルス出版 1984: 1396p. (Ja-327-Ur 4)

浦野起央 [編著]: 資料体系アジア・アフリカ国際関係政治社会史 第9巻 アジア・アフリカ年表Ⅱ 1960-1969年 東京 パピルス出版 1985: 785-135.9p. (Ja-327-Ur 4)

浦野起央 [編著]: 資料体系アジア・アフリカ国際関係政治社会史 第9巻 アジア・アフリカ年表Ⅲ 1970-1979年 東京 パピルス出版 1985: 1361-1977p. (Ja-327-Ur 4)

山口圭介: ナショナリズムと現代 福岡 九州大学出版会 1987: 296p. (Ja-323.1-K 21)

〈雑誌記事〉

阿部 登: 急務となっている対南ア経済制裁——アパルトヘイト死守再確認したボタ政権 世界政治 (724) 1986.9上旬: 34-48

アフリカ協会調査部: 南アフリカ制裁問題(カレント・トピックス特集) 月刊アフリカ 26(1) 1986.1: 2-11

アフリカ協会調査部: ナイジェリアの政治経済の動向 〈フロム・アフリカ〉 月刊アフリカ 26 (213) 1986.213: 29-33

アフリカにおける大国秘密機関の活動 月刊アフリカ 25 (1)-(4) 1985.1-4: 頁略

アフリカ統一機構(OAU) 概要 月刊国際政経情報 1986.8: 43-49

青木一能: アパルトヘイトの終焉迫る南ア情勢(海外動向) 世界経済 (352) 1985.12: 25-30

青木一能: 強硬姿勢をさらに強める南ア白人政権——欧米・前線諸国のジレンマ—— 世界週報 67 (39) 1986.9.30: 12-15

青木一能: ソ連の“膨張”と第三世界現状維持勢力への転換迫られるソ連—— 世界経済 40 (8) 1985.8: 51-57

青木一能: スーダンの政変と揺れる同盟関係 世界経済 40 (6) 1985.6: 40-44

アパルトヘイト反対の統一的労働組合闘争の前進のた

めに 世界労働組合運動 (208) 1986.3: 19-23

足木 孝: 国連とアフリカ 経済と外交 (755) 1985.4: 25-29

独立7周年のジンバブエは今——政治・経済の現状——月刊アフリカ 27 (8) 1987.8: 6-13

Farisani, T. S.: アパルトヘイトの廃止に助力をエコノミスト (2685) 1986.7.1: 60-63

Farisani, T. S.: アパルトヘイトと拷問——南アフリカの現状を語る——〈エディターズ・インタヴュー〉・(ききて安江良介) 世界 (489) 1986.6: 135-147

Greene, David G.: アフリカの危機 月刊アフリカ 25 (5)-(7) 1985.5-7: 25-27, 24-26, 17-20

土部長穂: チトーとアジア・アフリカ 東洋研究 (79) 1986.3: 101-123

原 順一: 代理戦争の様相深めるチャド内戦 砂漠に燃え上るカダフィの野心 (上)(下) 世界週報 67 (16), (17) 1986.4.15, 4.22: 18-23, 24-28

原 祐二: ナイジェリアにおけるクーデターの背景——石油政策・IMF融資問題等を中心として——国際資源 (133) 1985.12: 35-44

原野喜一郎: 内ゲバが変えた南ア対立の構図 This is 3 (3) 1986.3: 110-113

林 晃史: ボータ政権と南ア政治の現状 国際問題 (319) 1986.10: 2-14

林 晃史: 団結のみみせつけた黒人労働者 南ア鉱山ストライキの残したもの 世界週報 68 (38) 1987.9.22: 12-17

林 晃史: 南アフリカ共和国のアフリカ人強制移住——クロスローズ事件をめぐる——アフリカレポート (1) 1985: 8-11

林 晃史: 周辺国と協調強める南ア制裁に主導的役割 ジンバブエ (発展途上国の新潮流 35) 貿易と産業 28 (1) 1987.1.: 72-74

井上一明: ノコマチ協定以後のモザンビークと南部アフリカ アフリカレポート (4) 1987.3: 2-5

石郷岡 健: ケープタウン——引き返せない混血社会

- の反乱 エコノミスト 64(2) 1986.1.14: 88-90
- 伊藤友治: 人種差別に非難は依然強く国際的に孤立無援の南ア政情の不安 スチールデザイン (287) 1987.4: 34-35 (XJa-87-0021)
- 伊藤芳明: 南アフリカをめぐる国際関係(特集 世界の中のアフリカ) 地理 30(12) 1985.12: 42-49
- 勝俣 誠: 限界にきた南アのアパルトヘイト——日本は国連型の全面制裁を—— エコノミスト 1986.8.12: 48-55
- キホロ, ワンジル: ケニアとアメリカ——その強まる戦略的きずな—— 世界政治 (706) 1985.12 上旬: 45-49
- 北沢洋子: アフリカをめぐる国際関係 リビアと南アフリカの紛争(特集 アフリカの現実) 海外事情 34(3) 1986.3: 53-69
- 北沢洋子: ウォール街も見放した南ア——加速するアパルトヘイトの解体—— エコノミスト 63(48) 1985.11.5: 24-29
- クーデター後のナイジェリア 中東経済 12(10) 1985.10.30: 39-50
- クンチェ・ニジェール最高軍事評議会議長の訪日 国際協力特別情報 12(20) 1986.11.1: 9-13
- 栗田禎子: スーダン情勢分析(カイロ通信) 歴史評論 (427) 1985.11: 88-92
- 教会への挑戦——カイロス文章(上), (下)——南アフリカの政治的危機にかんする神学的コメント—— 世界政治 (727), (729) 1986.10下旬, 11下旬: 22-31, 51-62
- マリ・ブルキナファソ国境紛争 国際協力特別情報 12(4) 1986.2.15: 29-31
- マシェル・モザンビーク大統領夫妻の訪日 国際協力特別情報 12(13) 1986.7.1: 18-19
- 宮川渉駐ナイジェリア大使に同国の近況を聞く 〈フロム・アフリカ〉 月刊アフリカ 26(213) 1986.213: 20-28
- 三宅和助: 南アフリカは今ノ激動の地の現状・日本の対応…etc… (アフリカ・トーク) 月刊アフリカ 27(3) 1987.3: 17-22
- 三宅和助: 最近のアフリカ情勢 日本貿易会月報 (388) 1986.9: 3-6
- 室井義雄: 1980年代のナイジェリアにおけるクーデター——その政治・経済的背景—— アジア経済 27(5) 1986.5: 4-24
- 中原精一: アフリカ英連邦諸国憲法の特徴と評価 アフリカ研究 (28) 1986.3: 71-94
- 南ア=明るい未来への図式(キッシンジャー博士の地球診断) This is 3 (11) 1986.11: 79-86
- 南ア情勢緊迫=白人少数支配に迫る時代の波 週刊東洋経済 (4609) 1985.8.31: 78-81
- 那須国男: 内外からゆすぶられる南アの白人政権——社会不安長期化に加えて半世紀来の経済危機—— 月刊アフリカ 25(2) 1985.2: 13-21
- OAU(アフリカ統一機構) 首脳会議 国際協力特別情報 12(16) 1986.9.1: 14-19
- 大林 稔: ザイールの政治制度とその実際 月刊アフリカ 25(11/12) 1985.11/12: 19-22
- 小田英郎: アパルトヘイトとその歴史的背景 国際問題 (319) 1986.10: 15-26
- 小田英郎: 南アフリカ共和国「新憲法」と人種主義の再編成 歴史評論 (425) 1985.9: 82-85
- 小田英郎: 揺れ動くアパルトヘイト体制とボタ南ア政権の将来——離婚背徳法廃止で新たな展望は開けるか—— 世界週報 66(23) 1985.6.4: 26-29
- オデット, アリエ: アラブ・南アコネクション 月刊イスラエル 19(3) 1986.3: (XJa-86-0153)
- 小倉充夫: エチオピアの経済危機と軍事化に関する覚え書き アジア経済 27(5) 1986.5: 77-91
- 小倉充夫: 南部アフリカにおける国際関係と日本 総合研究(津大塾大学国際関係研究所) (1) 1985.9: 253-276 (XJa-85-0128)
- 奥野保男: アフリカ——統一か, 貧困か——見通しは暗い 世界週報 68(1) 1986.12.30/1987.1.6: 84-87
- 奥野保男: アパルトヘイト体制の構図崩壊の道たどる南アの人種主義 (特集アフリカの現実) 海外事情 34(3) 1986.3: 2-17

奥野保男： 破綻にひんしたアパルトヘイト体制——
最近の南アフリカ事情—— 世界政治 (719)
1986.6下旬： 10-15

奥野保男： 崩壊への道たどるアパルトヘイト体制
——南ア人種差別の構図と問題点—— アジア・ア
フリカ研究 26 (1/2/3) 1986.1/2/3: 15-24

奥野保男： 終盤に入った南アのアパルトヘイト紛争
白人黒人双方に激しい内部分裂 世界週報 67(29)
1986.7.15: 12-17

オリバー・タンボ： 南アフリカの黒い星 オリバー・
タンボ氏に聞く 朝日ジャーナル 29 (20) 1987.
5.8: 100-103

リベリアにおけるクーデター未遂事件 国際協力特別
情報 12 (1) 1986.1.1: 17-20

最近の南部アフリカ情勢をめぐって——南アのアパル
トヘイトと諸外国の対応 世界の動き (449)
1986.9: 22-25

最近の政治・経済・貿易事情 (コートジボワール) 通
商弘報 (10852) 1985.12.3: 6-9

最近の政治・経済事情(セネガル) 通商弘報 (10936)
1986.3.19: 10-15

佐々木良昭： “四月六日革命”とスーダンの今後 海
外事情 33 (7) 1985.7/8: 76-84

沢田賢治： 南部アフリカ開発調整会議の動向 海外
鉱業情報 17 (2) 1987.5: 3-16

清水 学： スーダン新政権の課題——「国民統合」
の条件—— 現代の中東 (1) 1986.9: 43-49

篠田 豊： 生粋のマルクス主義者、メンギスツ (エ

チオピア元首)——大量処刑と粛清で頂点に登りつ
める—— 世界週報 66 (24) 1985.6.11: 40-44

終焉を迎えたヌメイリ体制 中東経済 12 (4) 1985.
4.30: 12-22

スティール, ジョナサン： 崩壊しつつあるアパルト
ヘイトの砦 世界政治 (703) 1985.10下旬: 42-
48

Tutu, Desmond Mplio： 日本は抑圧の側に立つの
か, 人間解放の側に立つのか (講演) 朝日ジャ
ーナル 28 (36) 1986.9.5: 14-19

飢えとクーデターとは無縁の国, ジンバブエ——一党
独裁への甘い誘惑 月刊貿易と産業 26 (9) 1985.
9: 53-55

梅津和郎： アンゴラ紛争のリアリティー 海外事情
34 (6) 1986.6: 17-29

梅津和郎： 南アの総選挙とアパルトヘイトの将来 海
外事情 35 (6) 1987.6: 85-99

若松 篤： 制裁をめぐる南アの新聞論調 月刊アフ
リカ 26 (1) 1986.1: 12-16

山口圭介： アフリカにおけるマルクス主義とナショ
ナリズム 法政論集(北九州大学) 13 (2) 1985.
12: 73-95 (XJa-86-0011)

山口寿男： 南アおよび南部アフリカ問題 (1) (2)
(3) 経済と外交 (759), (760), (762) 1985.
8, 9, 11: 11-14, 14-18, 38-42

吉田昌夫： アフリカにおける地域組織の危機 アフ
リカレポート (1) 1985: 2-7